

(別添資料1)

事業所名

縁ジェル

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

4 日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。					
支援方針		集団生活を通して、将来の自立に向けた基礎的な力を身に付けられるよう支援を行う					
営業時間		10 時	0 分から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	●身辺自立 【日常生活に必要な基本的生活動作（靴の着脱、排泄、持ち物管理等）について、見通しを持って自分から取り組めるよう支援する。必要に応じて声かけや環境調整を行い、成功体験を積み重ねながら自立心を育てる。】 ●食育 【クッキング活動や日常の食事場面を通して、食材を見る・触れる・調理する体験を重ね、食への親しみを育む。無理のない量や形状で提供し、「食べられた」という成功体験を積み重ねていく。】					
	運動・感覚	● 基礎運動 【遊びや日常活動の中で身体を動かす機会を確保し、姿勢保持やバランス感覚、協調運動などの基礎的な運動機能の向上を図る。感覚特性に配慮しながら安心して取り組める環境を整え、身体を動かす楽しさや意欲を育てる。】					
	認知・行動	● 認知あそび 【発達段階に応じた課題や遊びを通して、物の大小・色・形の理解や数量概念などの基礎的な認知力を育てる。見通しを持てる環境設定や視覚的支援を活用し、自ら考えて行動する力を養う。】					
	言語 コミュニケーション	● ことばの育ち 【日常のやりとりや遊びを通して、語彙の拡大や表現力の向上を図る。絵カードやジェスチャーなども活用しながら、自分の思いや要求を適切に伝える力を育てる。】					
	人間関係 社会性	● かかわりあそび 【集団活動や日々のやりとりを通して、順番を待つ・ルールを守る・相手の気持ちに気づくなどの社会性を育む。安心できる環境の中で成功体験を積み重ね、人と関わる楽しさや信頼関係の形成につなげる。】					
家族支援		●定期面談 ●日常的な情報共有 ●随時相談対応 ●保護者交流会			移行支援	●発達状況や特性を踏まえ、就園・就学に向けて保護者や関係機関と情報共有を行う。必要に応じて引き継ぎ資料の作成や担当者間の連携を図り、安心して次の環境へ移行できるよう支援する。	
地域支援・地域連携		●関係機関との連携 ●地域資源の活用 ●地域への理解促進			職員の質の向上	●社内外研修に参加します。 ●毎日の振り返りを行い、次回の支援につなげていきます。 ●他事業所と交流の機会を設け、支援の質を高めあいます。 ●ヒヤリハット、事故報告を徹底して、再発防止に努めます。	
主な行事等		● 外出体験活動 ● 季節の行事（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・初詣・節分 など） ● 保護者交流会 ● 避難訓練（月1回） ● クッキング活動					